

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ランプ			
○保護者評価実施期間	2024年10月25日		～	2024年11月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2024年10月24日		～	2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤看護師が多く、医療的ケア児に対し、呼吸器等の超重度のお子様のお預かりをしている。	個別のケアについて、都度話し合いや相談をし、個別性のケアに努めている。 重症心身障がい児の経験者である看護師からの指導を受けている。	外部研修などの受講により、質の高いサービスの提供、相談支援の充実を図りたい。 疾患の特性を学び、個別性の高いケアを実施したい。
2	人員を多く配置し、常に専門職が要観察のお子様の変化にいち早く気づける。	情報共有を意識し、共有ファイルを作成して、パート職員への情報共有漏れのないように取り組んでいる。 疑問点の解消や気づきに繋げるように、声掛けをすることを大切にしている。	より専門性を高めるため、セラピストの常勤採用を予定している。 専門職同士での違った視野で広い見識を持ったアプローチに繋げたい。
3	スタッフ間の関係性が良く、明るい楽しい事業所の雰囲気がお子様達にも伝わっている。	職員の働きやすい職場作りを目指している。 楽しい職場で生き生きと仕事することはお子様へ還元できるサービスの向上へ繋がっているとの意識を持っている。	役割分担を重複させることで、スタッフが休みやすい環境を取組み始めている。 忌憚なく話し合えるスタッフ間の関係構築を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育について、根拠やそれぞれのお子様に合わせた創作活動がまだ確立されていない。	療育についての知識や経験の不足が原因と思われる。 医療度の高いお子様に対し、優先される医療ケアがあるのも要因のひとつになっている。	療育について学ぶ機会を探し、スタッフの受講を勧めたい。 児童指導員を中心に、見識を皆で深め、より良い充実した療育に努めたい。
2	近隣のお子様のご利用が少ない。	地域との繋がりが少なく、認知度が低い。 重症心身障がい児対象の施設のため、市内の対象児が少ないことも要因のひとつである。	地域の協議会等への積極的な参加で、認知に繋げる。 福祉センター等へのお散歩を継続して、地域交流する機会を作りたい。
3	定期研修内容や訓練の内容を深めたい。	開設5年経ち、研修内容を深く掘り下げて、これまでより充実した内容に更新したい。 訓練も図上訓練と実地訓練を行っているが、想定できる災害全てを網羅出来ていない。	定期研修講師を担当制にするなどして、ひとつずつの研修の内容を充実したものに更新したい。 訓練に関しては、いろいろなケースを想定して、年間で計画を立てて、万が一に備えたい。